

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災時の避難対策について、現在年2回火災避難訓練を行っているが夜間を想定した訓練は行えていない。建物が近隣の住宅やアパートと隣接しているため住民の理解と協力が必要不可欠であるが協力体制の構築がなされていない。	近隣の住民の方と災害時の避難体制、特に夜間の火災時の避難対策について理解と協力を得られるように、自治会との協力体制を確立する。	近隣の住民にさくら野里の防火、避難体制について理解を得る。 自治会の消防団との連携を図り、非常時の連絡、協力について具体的な取り決めを確立する。	6ヶ月
2	4	現在運営推進会議については年間3～4回の開催であり、家族様の参加が少なく、参加メンバーの広がりが無い。	2ヶ月に一度の開催が出来るように計画を立て、家族様の参加を促し、地域の参加メンバーを広げていく。	早めに計画を立て案内する。議題について参加予定メンバー等の意見も取り入れる。地域の参加メンバーを広げる。(例えばトライやる・ウイーク受け入れの中学、近隣の福祉施設、消防団等)	12ヶ月
3	8	入居対象者が認知症高齢者であるが、これまでのところ事例も無く、日常生活自立支援事業や成年後見制度については学ぶ機会が持てていない。	権利擁護に関する制度について理解を得、必要時にはスムーズに制度を利用できるようにする。地域包括支援センターとの協働。	権利擁護に関する制度についての勉強会を行い、成年後見制度、日常生活自立支援事業について職員の理解を図る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。